

「学び続ける力」を高める学習指導の在り方（第二年次）

－研究協力校における実践的研究を通して－

福島県教育センター 調査研究チーム 指導主事 星 克明

## 1 研究の趣旨

「学びの変革」を後押しすべく、令和5年度より『「学び続ける力」を高める学習指導の在り方』をテーマに研究をスタートさせた。第一年次研究の「指導方法の工夫・改善を通して」では、研究過程で、「学び続ける力」が「学びの変革」の特に「協働的な学び」や「探究的な学び」に関連のあることが明らかとなった。また、「学び続ける力尺度」による実態調査では、「探究的な学び」に関する質問項目の平均値が、「協働的な学び」のそれよりも顕著に低い結果となった。そこから、各教科・科目の学習で「探究的な学び」が十分に浸透していないのではないかと考えた。そこで、第二年次研究では、各教科・科目の「探究的な学び」を充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現につながる学習指導の工夫・改善のポイントを明らかにすることを目指した。そして、2年間の研究成果を「学びの変革ガイド」にまとめて、「学びの変革」を実現する際の案内書として発信しようと考えた。

## 2 研究の概要

「探究的な学び」の充実にとって、総合的な学習（探究）の時間の「固有な見方・考え方」の、物事を「多様な角度から俯瞰して捉える力」や「問い続ける力」を児童生徒に育成することが必要だと考えた。そのために、規準や目標に基づいて意識的に考える「批判的思考」に着目し、以下の仮説を設定した。

以下の「批判的思考」の視点を取り入れた学習指導法を中心に講じて、児童生徒の「多様な角度から俯瞰して捉える力」や「問い続ける力」の発揮や高まりにつなげ、「探究的な学び」を充実させることで、児童生徒の「学び続ける力」を高めることができるだろう。

**【学習指導法 1】 学びの段階的な可視化と共有（「協働的な学び」実践力）**

**【学習指導法 2】 学びの意味を実感するための振り返りの基準の共有（「協働的な学び」調整力）**

**【学習指導法 3】 学びを基にした問いや学習課題づくり（「探究的な学び」推進力）**

**【学習指導法 4】 問いを立てるための考え等の“疑問形”化（「探究的な学び」推進力）**

**【学習指導法 5】 問いや学習課題をつくるための基準の共有（「探究的な学び」適応力）**

**【学習指導法 6】 学習課題の自分事化を促す問いの吟味（「探究的な学び」適応力）**

## 3 成果と今後の課題

### (1) 研究の成果

- 共感的に協働する力が、児童生徒の「学び続ける力」や「批判的思考」の発揮されやすさ、さらには Well-being の高まりと関連することが分かった。
- 「個別最適化された学び」と「協働的な学び」のさらなる一体的充実にとって、学習の個性化の質を高める「探究的な学び」が鍵となることが分かった。

### (2) 今後の課題

- 「学び続ける力」以外の、児童生徒の Well-being を高める要因を明らかにする必要がある。
- どの校種でも汎用可能な学習指導法となるように、学習指導法の具体的な手順や、学習指導法相互の関連性を、「学びの変革」ガイドで示すことができるようにする。